

美術科授業案

日 時 平成 28 年 5 月 30 日 (金) 4 校時
生 徒 2 年 A 組 男子 13 名 女子 21 名 計 34 名
授業場 美術室
授業者 更科 結希

1 題材名 「メッセージを持ち歩こう～エコバッグデザイン～」(表現・鑑賞)

2 題材の目標

自らの考えをもとに、人に伝えるためのロゴデザインを考える際、簡略化した形の形成や色に意味を持たせ、遠方からでも認識が可能な表現をすることができる。

また、構想や配色を考える場面で、他者が感じるイメージについて認識し意見を取り入れ、誰に対しても伝わるメッセージ性のあるロゴデザインを構想することができる。そして、私たちの生活をより豊かにするためのデザインの役割について学ぶことができる。

3 題材について

(1) 題材観

美術科における育成すべき資質能力として、論点整理では造形的な創造活動の基礎能力としての「思考・判断・表現」の育成などが重点として述べられている。特に、感性や想像力を豊かに働かせて、思考・判断して表現したり鑑賞したりするなど、資質能力を相互に関連させながら育成することや、生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化についての実感的な理解を深める等については更なる充実が求められている。表現・鑑賞分野が個別に存在するのではなく、育成すべき資質能力との関連を考え、主体的で創造的な学習活動が必要とされている。学習指導要領においては、共通事項にある形や色彩がもたらす感情を理解し、対象のイメージを捉えたりする力を表現及び鑑賞の各活動に適切に位置づけ指導することの重要性が述べられている。

今回、創造的な学習活動を進めていくために、表現と鑑賞を一体化させ、鑑賞から自らの表現に活用できるアイデアや表現の方法について学び、自らの考えを表していくものとした。

本題材は、自分を取り巻く環境や社会問題に対するメッセージをロゴデザインし、実際の生活に使えるエコバッグに表現する。エコバッグは、近年急速に普及し、多くのブランドが自社のロゴを印刷した製品を多く販売している。その理由には、購入者が持ち歩くことによってブランドを広告できることに着目したからである。これまで、広告媒体は誌面や映像などがほとんどであったが、現代は誰もが広告を持ち歩くことができるようになったことを意味している。以上のことから、エコバッグの広告媒体としての役割に着目し、生徒の伝えたいメッセージを印刷して持ち歩くことが本題材において重要である。

これまで同題材でのロゴデザインは、自分を表現するマイマークを主題に学習活動を行ってきたが、中学 2 年生となり自分を取り巻く環境や社会に対して目を向け、メッセージを伝えるためのデザインを考えることは、他者を意識した発想や構想する能力の育成につながると考え設定した。

(2) 生徒観

(2) 指導観

本題材は、社会問題に目を向け、自らが周囲に伝えたいメッセージを考えロゴデザインする。ロゴを表現するためには、スケッチや絵画的表現から形の省略やデフォルメを行う必要がある。また、色彩においても自分が好きな色を選択するのではなく、メッセージにあった配色を考えることや多くの人が見やすく遠方からでも分かる配色が必要となる。そのためには、一般的に人に与える色の印象について学ぶ必要がある。

このような表現のために共通することは、他者から見てわかりやすく、伝わるロゴデザインにすることである。そのために、多くの仲間の意見を基にデザインを再考することや、自分の感覚と他者の感覚の違いについて認識することが必要となるため、協働は欠かせない。

【研究の視点】

「やるべきことの納得」に関わる手立て（授業構成）A

表現と鑑賞の領域を組み合わせ、生徒の生活や今後の考えを培う題材構成とする。

生徒の日常生活で使えるものに自らが考えるメッセージを印刷することにより、デザインは伝えるためにあることを完成した作品を実際に使うことで学ぶことができる題材構成とした。その上で、デザインの伝達のためには、他者の理解が必要となることを学び、暮らしの中における形や色彩の意味を理解し、美術の役割について考える授業としたい。また、鑑賞が表現するための考え方を学ぶための位置づけと、表現をより効果的なデザインにするために見方を学ぶためのものとして設定する。

「思考力を促す」に関わる手立てB

本授業において、表現したいメッセージを伝えるロゴデザインの配色を考える際に、自分が考えたものと他者が仮の案として提示したものを比較して、再考する場面を設定することを手だてとする。これは、自分の表現としてのロゴデザインではなく、他者に伝えるものであるために、配色の印象と伝えたいメッセージを繋げて思考するための手だてである。

今回の手だてにおいて、再考する場面で重要となるのは、伝えたいメッセージに合う色と色彩の組み合わせにおいての色の分量、遠方から見ても認識しやすい配色である。他者に伝わるものを考えるためには、メッセージの意図をロゴデザインのどの部分に込めたのかを明確に答えられるようにすることが大切であることと、色彩の組み合わせによって印象は異なることから、最もよい配色について思考させることが必要である。

3 小中連携による研究とのかかわり

(1) 小学校の題材とのかかわり

小学校の図画工作科の研究が行われていないため記述なし。連携したい。

4 評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想・構想	創造的な技能	鑑賞
<p>ア 目的や機能を考えて表現することに関心を持ち、主体的に造形的な美しさなどを総合的に考えて構想を練ろうとしている。</p> <p>イ 形や色彩などの表し方、材料や用具の生かし方などを主体的に工夫して表現しようとしている。</p>	<p>目的や条件、伝えたい内容を基に主題を生みだし、形のデフォルメや配色などの効果を生かし造形的な美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練っている。</p>	<p>感性や造形感覚などを働かせて、材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図を表し、シルクスクリーン印刷で表現できる図案を考え、見通しを持ちながら、創造的に表現している。</p>	<p>感性や想像力を働かせて、造形的な良さや目的や機能と野調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り味わったり、生活を美しく豊かにする美術の働きについての理解や見方を深めている。</p>

5 題材指導計画（8時間）

	学習事項	主な学習活動・ 手立て	評価			
			関	発	創	鑑
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">社会問題を基にしたメッセージを考え、ロゴデザインやロゴタイプの役割について学ぶ</div>	<p>○社会問題を発端としたロゴデザインについて鑑賞し、作者が何を伝えようとしていたか考える。【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロゴデザインの役割について学び、形や色を通してメッセージを伝えるデザインについて考える。 <p>○自らがメッセージを述べたい社会の問題について、考え、ロゴマークとロゴタイプについて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">同じカテゴリに関して興味を持つ集団において、問題に関わる要素を抜き出していく→形の構想</div>	ア			○
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">伝わるメッセージにするためのロゴデザインを構想する</div>	<p>○ロゴデザインのアイデアから省略や大きさの変更を加え、最適な形を考え、描き表わす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数多くあるアイデアスケッチから完成までの過程を示したロゴデザインを鑑賞する【 A 】 ・ロゴデザインのアイデアスケッチに表した形を省略しても伝わる形に整える。また、形の大小の調整をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">アイデアスケッチから、形のデフォルメやロゴの大きさを他者から見て最適なものにする→形の形成</div>		○		○
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">色のイメージについて確認し、メッセージの伝わる配色を構想する</div>	<p>○色彩についての学習をして、色の組み合わせについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3色団子の色の配置について学ぶ ・メッセージと配色の関係について学び、色のイメージを考慮した配色にする。 ・色の分量の違いによる見え方の違い <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">配色の再構成のため、他者の案を検討し、自らの案にもっとよい配色を決定する→色の再考</div>	ア	○		

		<p>について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいメッセージを基に他者の配色を考える。 ・他者の意見をもとに、配色を再考する。【 B 】 				
4	シルクスクリーン印刷の方法を理解し、版を制作する。	<p>○シルクスクリーン印刷のために図案を再構成して、版をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原案を基に配色を決定し、3色分の版を制作する。 ・印刷のための手順について確認する。 	イ		○	
5	エコバッグに1版ずつ印刷する。	<p>○エコバッグに、シルクスクリーン技法で1版を印刷する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決定した色を混色して、 	イ		○	
6 7		<p>○エコバッグに、シルクスクリーン技法で2版／3版の印刷を行う。</p>	イ		○	
8	完成した作品を互いに鑑賞し、形や色彩に持たせた意図について。	○完成した作品から他者のメッセージを知り、その意図に込められた形や色彩について鑑賞する。				○

6 本時案

(1) 本時の目標

ロゴデザインの最適な配色を考えるため、メッセージに合う色の選択の際に、色彩から人が受け取る印象を考え選択することができる。また、色の組み合わせや色の分量によって見え方は異なることを確認し、伝えたいメッセージを具体化して配色と関連づけて表現することができる。そして、他者の意見をもとに、最適な配色について再考しワークシートにまとめることができる。

(2) 本時の展開 3時間目 (○…発問,△…補助発問,□…指示,説明)

主な学習活動 (下位目標)	教師の働きかけ・手立て	【評価方法】・備考
<p>1 三色団子の色の配置や色の意図について知ることができる。</p>	<p>○三色団子の配色どれが本物だろう。A</p> <p>□色の意味があり、配色も決まっている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【問題】</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【色の意味】</p> <p>ピンクは春、白は冬、若草色は夏</p>  </div> </div>	<p>【観察】</p> <p>一斉</p>
<p>2 一般的な色の印象について、ワークシートに意見を書くことができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【生徒の予想される考え】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆赤・元気さ、情熱 ◆緑・生き生き、穏やか ◆青・冷静、穏やか、広さ </div>	<p>□与えられた色の印象をまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体で共有し、自分の印象だけでなく、他者の意見があることを確認する。 <p>【確認したい色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆赤、黄、緑、青、白、黒 	<p>【観察】</p> <p>一斉</p>
<p>3 メッセージに合う色の組み合わせを考え、色紙を選択する</p>	<p>○配色によって見え方は異なります。自分のデザインはどのようなイメージの色で組み合わせをし</p>	<p>【ワークシート・観察】</p>

<p>ことができる。</p>	<p>ますか？</p>	
<p>色を自在に扱って、メッセージを伝えよう</p>		
<p>4 色の分量によって見えかたが異なることを知り、自分の選んだ色紙を切り、ワークシートに表すことができる。</p> <p>5 仲間のメッセージを基に、色の組み合わせを考え提案することができる。</p> <div data-bbox="159 1059 544 1220" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【予想される答え】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠くからでも分かるように ・色が綺麗にみえるように ・バッグの色との関係 </div> <p>7 他者が考えた配色案と自分の案を比べ、最も自分が表現したい色の組み合わせを考えワークシートにまとめることができる。</p> <p>8 授業を振り返り、図案にどのような色の配置になるか考え次時の見通しをワークシートに記入することができる。</p>	<p>□自分のメッセージを表すために、メイン・サブ・アクセントカラーの3色を考えて、色紙を選ぼう。</p> <div data-bbox="572 436 1158 600" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【3つの配色の役割】 技1</p> <p>メイン・・・与えたい印象から選択 サブ・・・メインを補う印象から選択 アクセント・・・色相・明度が異なる色</p> </div> <p>○それぞれの色が違う分量だったら、印象は違うだろうか。 技2</p> <div data-bbox="595 696 1161 786" style="text-align: center;"> </div> <p>□自分の選んだ三色の分量を変えて一番良いものをワークシートに貼ろう。</p> <p>□班の人が、自分のメッセージの配色を考えてみたらどんな組み合わせになるだろうか B</p> <p>△持ち歩くことを考えれば、配色で気をつけたいことは何が考えられるだろうか。</p> <p>□遠方からでも分かるようにするためには、アクセントカラーが大切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明度や色相について確認する。 技3 <p>□色の組み合わせ案も増えた上で、色を操る技を用いて、自分のメッセージを伝えるためにはどの配色にしたら良いか、再考してみよう。</p> <p>□どのような事に注意して組み合わせを考えたかをワークシートに記述しよう。</p> <p>□今日の授業を振り返り、色が持つイメージや分量、組み合わせによって印象が変化することについて自分の図案をもとにまとめてみよう。</p>	<p>個人</p> <p>【ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択した色紙の分量を変えて貼り付ける <p>個人</p> <p>【観察】</p> <p>ペア</p> <p>全体</p> <p>【ワークシート・観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色紙を組み合わせ、意図をまとめる。 <p>個人</p> <p>【ワークシート・観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色紙を実際に貼り付ける